

宮崎大学発 都農町かわら版

令和8年9月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

☆☆都農に来る宮大のひとインタビュー☆☆

なかのあつし

地域資源創成学部 中野敦 准教授
環境材料学研究室

私たちのゼミでは、橋などの社会インフラを長く
安全に使うための研究をしています。
環境材料学の知識や様々なデータを活用しながら、
地域の暮らしや防災につながる研究に学生と一緒に
取り組んでいます。

今年度の都農町チャレンジ企画に応募、採択されました。

「都農町の橋と暮らしのMAPづくり」に学生と取り組みます。橋は、通学や
通勤、買い物、通院、農業など、毎日の暮らしを支える大切な存在です。
今回の企画では、学生たちが実際に都農町を歩き、橋の使われ方や周辺の様
子を調べるとともに、地域の皆さんから「普段どのように使っているか」
「昔はどうだったか」「困っていること」などのお話を伺います。

皆さんの声と学生の視点を重ねながら、橋と暮らしのつながり
を“見える化”し、これからの都農町の暮らしや地域づくりに
ついて一緒に考えるきっかけにしたいと思っています。
ぜひ様々なお話を聞かせてください。よろしくお願いします。



コラム

つものまるケア講座日常の一コマ by 桐ヶ谷先生

生成AIの進化には目を見張るものがあります。調べもの
や文章作成など、皆さんの暮らしの中でも使う機会が増え
てきたのではないのでしょうか。医療の現場でも、うまく使
えば心強い助っ人です。ただ、AIも時々ドヤ顔
で間違えます。便利だからと任せきりにせず、
最後は自分で確かめ、考え、判断することが
大切です。上手に頼って、上手に疑う。その
くらいの距離感がよさそうです。



★都農の皆さんに質問★

📅 家庭血圧、正しく測れていますか？

🕒 測定するタイミング

- ・朝：起床後1時間以内(朝食・服薬前)
- ・夜：就寝前
- ※朝・夜とも、測定前に1〜2分安静にする

✅ 正しい測り方(姿勢)

- ・椅子に座り、背もたれに
よりかかる
- ・腕を心臓の高さに置いて
測定する



目標値 2025年改定

家庭で測る目標 **125/75**
mmHg未満

診察室で測る目標 **130/80**
mmHg未満

朝と夜、どちらが大事？ 脳卒中や心疾患のリスクは朝の血圧との
関連が強いため、どちらかといえば朝の血圧が重視されます。
ただし夜の血圧も一日の変動を確認するうえで大切なので、
できれば朝・夜の1日2回測定しましょう。

☆今月の実習生紹介☆ 地域包括ケア実習

医学部医学科6年生 8/24~9/17

つの
LOVE

永原 智実 (ながはらともみ) さん

出身:千葉県 趣味:パン作り、日本酒
部活:太鼓



ひと言：4週間お世話になりました！
おいしいものをたくさん食べ(特にお気に入り
は「風林火山」の鉄板チャーシューと「美食
鳥」の鳥刺し)、花火大会や毎週のミニバレー
練習など楽しい思い出にあふれ、目一杯都農を
満喫しました！！実習も頑張りました！！

瀬川ゼミ紹介

【3年生】



石橋 唯さん 福岡県筑後市出身
いしばし ゆい 趣味：推し活 部活：宮大チアダンス部DaisyGirls

9/15鹿児島県大崎町での九州スポーツまちづくりプラットフォーム設立イベントに参加してきました。これまでゼミでは、スポーツを生かした地域づくりについて学んできました。今回実際に活動されている方々と交流したことで、学んできたことをより具体的にイメージできるようになりました。今回の交流をきっかけに、もっとこの活動について知り、自分も何か力になりたいと思うようになりました。

【2年生】

町の皆様との交流を大切に、町の魅力をより深く知りたいです！



林 来瞳さん
はやしくるみ

北海道
留萌市出身
趣味：音楽、
お笑い鑑賞
サークル：
探求、スキ



松尾 奈々美さん
まつお ななみ

沖縄県出身
福岡県育ち
趣味：写真、
洋画鑑賞
部活：写真部

都農町の文化などについて積極的に学び、皆さんと楽しく活動していきたいです！

これから都農町で色々なことを学び、自らを成長させていきたいです！



東 祐輝さん
あずま ゆうき

宮崎市出身
趣味：釣り
部活：宮大
学生放送局
(MUSB)

9/5 都農町での活動を地域活性学会にて発表

Byコーディネーター岡

今年の1月にPBL活動の一環で開催した都農町大上敏男絵画展を分析対象とした研究を、地域活性学会第18回研究大会（茨城大学）にて発表しました。都農町の紹介をはじめ、研究では地域活性の現場で創出された価値の分類、また地域活性化の地域側評価項目について検討しました。発表会場からは、思い出を持ち寄る場が愛着の再発見になったことへの注目や、世代を越えた集客への課題、自治体との連携に関心が寄せられました。

学会大会には全国から多くの研究者が集い、様々なテーマでの発表があります。今後も寄附講座の町での取り組みを研究成果として発表する機会を設け、広く報告していきたいと思ひます。

9/10、9/14 dotcube 都農中学校での

デジタル体験講座

大学生の夏休み(8月7日から9月末まで)の期間を利用して、デジタルコンテンツ製作部dotcube(ドットキューブ)の学生有志が、都農中学校の校内支援教室にてデジタル体験講座を開催しました。

1日目は「君もチーターになれる～ゲームの裏側を見てみよう」。Makecodeというソフトを使ってゲームのコードを自分で改変して、デザインや速度、色などを自由に変更する体験をしました。「変数」についての説明があり、ゲームの成り立ちを触って理解し、思い通りのものができることを体験し、生徒は楽しそうでした。

2日目は「自分のページを作成してみよう」。Web Makerソフトを使ってオリジナルのマイページを自分の好きなように作成しました。

学生たちは、部活動で自分たちのスキル向上のためにゲーム作成やプログラミングに取り組んでいますが、人に教える機会は多くありません。企画内容や資料作成でも試行錯誤工夫をこらしていました。dotcubeは、今年度も町内の子ども向けデジタル講座を企画中です。どうぞお楽しみに。



大学生夏休みのブドウ収穫アルバイト体験記

農学部獣医学科3年 向田結愛(むくた ゆあ)さん



都農ワインで夏休みに3日間収穫アルバイトをした向田さんは、愛知県の実家の近くにブドウ栽培をしている修道院があり、ブドウ収穫に憧れがあったそうです。「体力的には大変だけれど、スタッフの皆さんとの会話や摘みたてのブドウの味、空調服の着用など、初めての経験ばかりでとても楽しかった、今年のワインが発売されたら家族に自慢します！」と笑顔で語り、昼休憩には「トマトソフトが食べてみたい」と道の駅へ。

汗をかいた思い出とともに、都農のファンがまた一人増えたようです。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2026年9月25日(原則毎月発行)
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270(つの未来財団)